

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	治療論Ⅲ(栄養学)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	福原 由紀	実務経験と その関連資格				
<b>《授業科目における学習内容》</b> 人間にとっての栄養の意義、栄養と健康のかかわりについて学ぶ。人間の生理機能との関連から、栄養の基本的概念と各種栄養素、栄養状態の評価、臨床栄養として食事療法を理解する。専門職として保健・医療・福祉の場で、職に関する問題を把握・解決するため後しを習得する。腫瘍食品の栄養学的意義を学び、各栄養素の消化・吸収について学習する。健康の維持・増進および回復を図るため食事について学習する。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 小テスト、出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 系統看護学講座 専門基礎分野3 栄養学 医学書院						
<b>《授業外における学習方法》</b> 日ごろから食品に含まれる栄養に関心を持ち、サプリメントや健康補助食品などの成分表などを見るようにする						
<b>《履修に当たっての留意点》</b>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 五大栄養素について説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	栄養素の種類(五大栄養素)と働き ビタミンミネラル欠乏症 エネルギー代謝			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 栄養素の消化・吸収・代謝について説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	栄養素の消化・吸収・代謝について 栄養素についての復習			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 栄養ケア・マネジメントについて理解し、看護の役割について述べる ことができる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	栄養ケアマネジメント (スクリーニング、アセスメント、PDCAサイクル)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 栄養状態のアセスメント、それに基づいた計画の立て方について説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	栄養ケア計画、プランニングについて 基礎代謝と必要基礎量			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 肥満患者の食事療法について説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	栄養代謝疾患の食事療法(肥満・糖尿病) 栄養補助食品の試飲			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 糖尿病、脂質異常患者の食事療法について説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	食事療法(糖尿病、脂質異常、高尿酸血症) 汁物の塩分濃度測定と試飲		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 各系統別疾患の食事療法について説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	臨床栄養 1. 疾患別食事療法の実際 1)循環器疾患 減塩食(調味料) 2)消化器疾患 3)栄養・代謝疾患 糖尿病の食品交換表と特殊食品 4)腎臓疾患 腎臓病特殊食品		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 各系統別疾患の食事療法について説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	臨床栄養 1. 疾患別食事療法の実際 5)血液疾患 6)食物アレルギー 7)小児疾患 8)妊娠高血圧 9)術前・術後		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 健康づくりに必要な食事・食生活について説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	健康づくりと食品・食事・食生活 1. 食事と食生活 2.食品と食品群 3.各種食品群の分類方法 食品交換表の理解		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 病院食の種類とその特徴について説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	臨床栄養 1. 病院食とは:病院食の意義と種類、一般食・特別食・検査食 2.栄養補給法(経腸栄養法、静脈栄養法、経腸栄養と静脈栄養による管理の現状と今後)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. ライフステージ(乳幼児～青年期)と栄養について説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ライフステージ(と栄養 乳幼児期・幼児期・学童期・思春期・青年期における栄養		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. ライフステージ(成人期～高齢期)と栄養について説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ライフステージと栄養 成人期・妊娠期・授乳期・更年期・高齢期における栄養 (高齢期:嚥下調整食・ソフト食・とろみ食)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 職業による食事内容の違いについて説明できる	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	一般職のカロリーの違い ライフステージ別の食事量の違いを見本から理解する 20代女性・男性の必要な栄養量を理解し自己の食生活と比較する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 疾患別食事療法の実際について説明できる。	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	疾患別食事療法の実際 各疾患別の食事と一般職との違いや特徴を理解する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 健康日本21にみる栄養問題の変遷と現在の課題について述べる ことができる。	教科書 授業時配布資料	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	食生活の変遷と栄養問題 生活習慣病の予防 食生活指針と健康日本21		